

# あまるめ〜る

庄内余目病院 広報誌

2023

7月

No.257

【連載】予防医療のすすめ

我慢しないで、更年期障害…P4

ナーシングフォーユー

プリセプター&プリセプティ…P8

鶴岡・田川3病院

地域包括ケアパス連携が  
スタートしました…P10



## おぼろ梅

松山地区特産の「おぼろ梅」。梅干しや梅酒などの加工に重宝される中粒種で、緻密で厚い果肉、滑らかな果実肌が特徴です。

## 寺田院長のんだんだ!通信

病院の“んだんだ”(そうそう)と思う話題や日々の出来事、医療の話をお届けします。

No. 96

## 年々、背が縮まる話

「はい、身長は178.4cmです」

「え～っ!?!また縮んだ…、ふう…」

年に2回行われる職員健診で、健診の度に数mm身長が縮んでいく。私は学生時代、バレーボールの選手で身長は180.0cmあった。

人は加齢とともに身長が縮まる。調べたところ、40歳を過ぎる頃から、何と平均で10年に1cmも縮むのだ。

その原因は、大きく3つ挙げられている。

①歳をとって姿勢が悪くなることである。長年の生活習慣や、腹筋や背筋などの筋力の衰えで猫背になる。

②骨粗鬆症により、背骨の圧迫骨折を起こしたり背骨が変形したりすることによる。

③加齢による体の水分量の減少である。体の水分量が減ることで、背骨の椎間板の水分量も減少して厚みが薄くなるのだ。椎間板は血流に乏しく、いくら水分を補給しても椎間板の水分量は戻りにくい。

私の場合、①と③が当てはまるのだろう。

歳をとって干からびて、姿勢も悪くなったのだ。これはいかん! 要はいつまでも瑞々しく元気に胸を張って、シャキッとするのが大切なのだ。

「先生、歳をとると何かいいことがあるんでしょ

院長  
寺田 康



うか…?」

身長が縮んでため息をついた私を見て、健診センターの職員は私に尋ねた。

さて、写真は、2014年1月13日に浜松町の世界貿易センタービルの展望室から撮影した。高さ162.59mの世界貿易センタービルは、建て替えのため解体され、今はない。高層ビルが建ち並ぶ風景は近代的で、庄内にはない景色だ。

しかし、この高層建築物も建物の沈下によって低くなることもあるらしい。

人の身長が縮むのも、高層建築物が沈下するのも、どちらも地面に垂直に立っているが故、重力が影響しているのだ。

重力か…。なる程の～。

んだんだ。



## あまるめ～るContents

寺田院長のんだんだ!通信 …………… P2

医食同源一句の食材でおいしく健康に…………… P3

【連載】予防医療のすすめ  
我慢しないで、更年期障害 …………… P4

ナーシングフォーユー  
プリセプター&プリセプティ …………… P8

鶴岡・田川3病院  
地域包括ケアパス連携がスタートしました… P10

—要再検査・要精密検査と言われたら—  
二次検診を受けましょう …………… P12

今月の表紙は  
おばこ梅



## 医食同源

—旬の食材でおいしく健康に—

### ■加工に重宝される「おばこ梅」

酒田市松山地区特産のおばこ梅の栽培は、平成4～5年頃に減反政策の一環として始まりました。例年、6月下旬から7月にかけて収穫されます。おばこ梅の名は、庄内美人「おばこ」のイメージから名付けられました。中粒種の食べやすい大きさと、香りが良く果肉が壊れにくいので、梅干しや梅酒の加工に重宝されています。

### ■栄養価や食べ方のポイント

疲れがたまっている体には、梅干しがおすすです。梅の酸味成分であるクエン酸は、唾液の分泌を促して食欲を増進し、代謝を活性化させて疲労回復を促します。また、胃液や消化酵素の分泌を高めて、カ

ルシウムや鉄の吸収を助けてくれます。梅干しと一緒にカルシウムや鉄が多く含まれるイワシを煮るのは、理にかなう調理法です。また、梅に微量に含まれているピクリン酸は腸の働きを活発にし、便通の改善も期待できます。

### ■おばこ梅の選び方について

果実がふっくらとしていて丸みがあり、表面に傷や斑点がないものを選びましょう。収穫後も追熟が進むので、買ってきたらなるべく早く加工します。また、冷蔵庫に入ると低温障害を起こし茶色く変色したりするため、加工するまでは新聞紙などに包み、涼しいところに置いておきましょう。

栄養管理室 副主任/佐藤 麻里子(管理栄養士)



婦人科医長  
たむら だいすけ  
**田村 大輔**  
(日本産科婦人科学会  
産婦人科専門医)

## 《婦人科》

# 我慢しないで、更年期障害

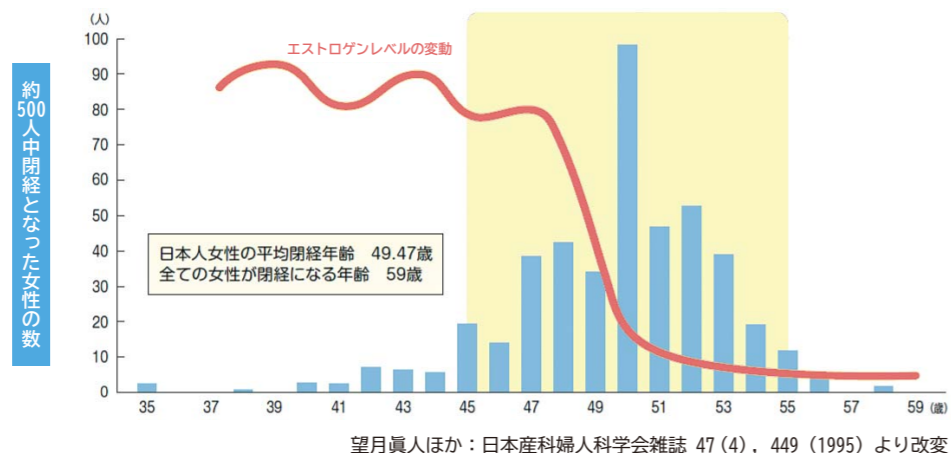
女性の更年期は第二の人生の始まりと言われ、誰にでも訪れるものです。「更年期障害」というと、その症状は幅広く、重い方もいれば軽い方もいます。症状がつかれば、我慢せず婦人科へ相談しましょう。

## 更年期障害とは？

更年期とは“性成熟期と老年期間の移行期”のことで、卵巣機能が減退していく時期”をいいます。一般的に、更年期の年齢は閉経前後の5年間を含めた計10年間です。日本人の閉経の平均年齢は50歳であり、45歳～55歳が更年期にあたります。閉経の年齢は個人差が大きく、40歳で閉経される方(35歳～45歳が更年期)もいれば、60歳で閉経される方(55歳～65歳が更年期)もいます。

閉経する年齢は予測が困難ですので、振り返ってみて更年期の時期が閉経前後5年の年齢であったと確認することができます。ちなみに、閉経とは生理が1年

## ▼閉経年齢の分布(約500人の日本人女性の記憶に基づく調査)



間来ないことをいいます。

更年期に、のぼせ、ほてり(ホットフラッシュ)、めまい、頭痛、全身倦怠感や不眠等といった身体的な症状、そして気持ちの落ち込み、やる気が出ない、不安、憂鬱等といった精神的な症状がみられ、さまざまな検査を行っても特に異常がない(器質的な異常なし)ものを更年期症状といいます。これらの症状がひどくなり、日常生活に支障をきたす状態を更年期障害といいます。

## 更年期障害の原因

更年期障害が起こるのは、閉経期に向かう過程で起きる卵巣機能の低下、すなわちエストロゲンの血中濃度が大きく変動しながら低下していくことが主な原因です。

エストロゲンは卵巣から分泌されている女性ホルモンで、更年期になると卵巣機能が低下することに伴い、エストロゲンの分泌量も減少します。

これを体が感知すると、自律神経のバランスに乱れが生じ、それに加えて身体的、心理的(性格)、社会的(職場や家庭の人間関係)な要因などが関与することで、更年期障害を引き起こすと考えられています。

## ▼閉経前後で起こりやすい更年期症状



## 更年期障害の症状

更年期障害の症状には、血管運動症状(ホットフラッシュ等)、精神的症状(イライラ、抑うつ等)、身体的症状の3種類があります。血管運動症状としては、のぼせ、顔のほてり(ホットフラッシュ)、発汗、動悸、息苦しさ、疲労感、頭痛、肩こり、めまい等があります。

精神症状としては、気分の落ち込み、倦怠感、イライラ、意欲の低下、不眠、食欲低下等があります。

身体症状は腰痛、関節・筋肉痛、冷え、しびれ、疲れやすさ、湿疹、かゆみ、排尿障害、頻尿等です。

## 検査・診断について

更年期障害は、主に問診と血液検査によって診断します。問診では、患者さんが感じている症状について質問表を用いながら詳しい聞き取りを行います。その際、他の器質的な病気（甲状腺疾患や耐糖能異常、心臓疾患等）の可能性がないかも含めて診断にあたるのが重要です。

特に、更年期によく起こる病気である甲状腺疾患は、更年期障害とよく似た症状がみられることから、しっかりと鑑別する必要があります。また、採血検査でエストロゲンなどの血中濃度を測定することもあります。この値は閉経から約2年後までは大きく変動します。

## 治療法について

どのような病気でも共通していますが、生活

習慣を整えることが重要です。運動を習慣化し、食事療法を行って過度の飲酒や喫煙は避け、規則正しい生活を心がけましょう。

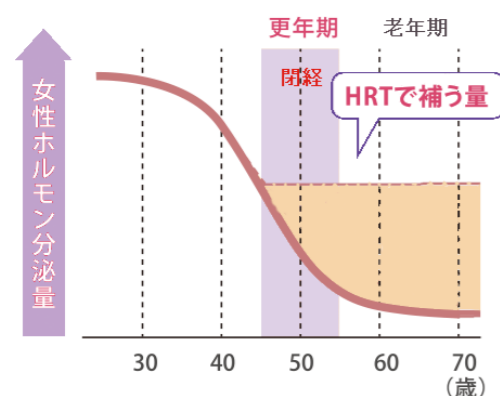
その上で行う、更年期障害の代表的な治療法として、ホルモン補充療法（HRT）、漢方薬や抗うつ薬による治療があります。

### 【ホルモン補充療法】

ホルモン補充療法（HRT）は、女性ホルモンを補うことで更年期障害の症状を改善させる方法です。さらに、長期的には骨粗しょう症や認知症の予防にも効果があることが分かっています。

この治療法は、女性ホルモンの代表である、2種類のホルモン（エストラジオールとプロゲステロン）を組み合わせで行います。薬剤には、飲み薬や貼り薬、塗り薬があります。それぞれで

### ▼ホルモン療法（HRT）について



副作用が生じるリスクも異なるため、症状や状況を医師と相談しながら選ぶことが大切です。

HRTの方法には、さまざまなものがあります。開始年齢や実際の症状、子宮の有無、既往歴、持病などによって使用する薬剤や量が選択されます。また、子宮体がんや乳がん治療中の方、過去に乳がん加療を受けた方、心筋梗塞、脳卒中、肝臓に重症な病気を患った人など、一部の人はHRTを実施できない場合があります。HRTの開始時期や継続期間、終了時期なども症状に合わせて医師と相談の上で決めるのがよいでしょう。

さらに、治療の開始時や長期間継続する場合は、定期的子宮がん検査や経膈超音波検査などを受ける必要があります。かかりつけの医師と相談しながら行いましょう。

### 【漢方薬】

体全体のバランスを整え、心と体を健康にすることを目的とした治療法です。ほてりやのぼせといったホットフラッシュがあり、症状が多岐にわたっている人に適しています。懸念される有害事象や副作用も少なく、比較的安にかつ長期間に渡り服用することができます。

### 【抗うつ薬】

抗うつ薬（抗不安薬を含む）は、うつ病を治療する際に薬物療法として使われることがある

薬です。うつ症状は、多くの人が更年期に経験する症状です。抗うつ薬は、精神的な変化だけでなく、ホットフラッシュといった身体的症状にも効果が期待できます。薬の服用に加えて、ストレスの要因から離れて休息をとったり気分転換を図るなど、心身ともにリラックスできる生活を心がけましょう。

## さいごに

更年期の時期は、閉経前後10年間ではありますが、個人差があり35歳から65歳までの間は該当する可能性があります。ライフスタイルの劇的な変動（家庭環境の変化、お子さんの進学、仕事における負担の増加等）を伴う時期に重なり、卵巣機能の低下は女性に肉体的にも精神的にも多大な負荷を与えます。

日常生活に支障をきたす前に、更年期症状で悩まれている方は婦人科に相談しましょう。





## 【インタビュー】 プリセプター&プリセプティ

当看護部では、先輩看護師（プリセプター）が新人看護師（プリセプティ）をマンツーマンで指導・教育するプリセプター制度を取り入れています。今回は、急性期病棟で働く先輩&新人看護師にインタビューしました。

### 先輩看護師 / プリセプター



4階西病棟【外科・整形外科・歯科口腔外科】  
看護師 石塚 青海  
(北里大学保健衛生専門学院卒業)

### Q.看護部にはどんな新人教育制度がありますか？

プリセプター制度では、担当のプリセプターが新人看護師の指導を行っています。新人看護師は、約1年半かけて一般病棟3病棟をローテーションします。一般病棟以外の病棟や手術室、外来、透析センターでの研修もあり、自分の興味のある分野を見つけることができます。基礎技術研修や1年目に必要な研修プログラムも充実しています。

### Q.プリセプターとして、日々感じることは？

私自身が今までたくさんの先輩方に指導やフォローして頂ける環境で成長できたと感じているので、先輩方に教えて頂いたことを指導に活かしサポートしていきたいと思っています。指導する難しさも感じますが、新人の時の思い出し、気軽に相談できるような環境

づくりを心がけています。

### Q.川井さんはどんな点で成長してきましたか？

病棟の環境や業務にも少しずつ慣れ、患者さんやスタッフとコミュニケーションをとり自分にできることを積極的に行っていると思います。自己学習を進めながら患者さんの疾患や治療を理解することもできており、日々の成長を感じます。採血や注射など、一人できる看護技術も増えました。未経験の疾患や検査、治療も経験できるように今後も一緒に頑張りましょう。

*Message of support*  
川井さんへ  
勉強や覚える事が多く  
大変ですが、一緒に頑張り  
ましょう!!  
石塚 青海

### Q.入職して、実際の業務はどうですか？

4階西病棟に配属されて2か月が経ちました。入職時は初めてのことばかりで不安を感じていましたが、プリセプターや先輩方が丁寧に優しく指導して下さり、少しずつ業務に慣れてきました。大変なこともありますが、日々患者さんに関わることで多くの学びを得ることができ、看護を行うことにやりがいを感じています。

### Q.プリセプター制度があつてよかったことは？

業務中はプリセプターの石塚さんがいつも気にかけてくださるので、安心して看護を行うことができます。未経験や慣れていない技術も1つ1つ丁寧に教えていただき、安全で正確な看護技術を身につけることにつながっていると感じます。支えてくださる先輩方にはとても感謝しています。

### Q.今後の目標を教えてください

知識や技術面でまだまだ未熟な部分もありますが、自分の理想とする看護師になれるよう疾患の勉強や技術の経験を積み、患者さんに安心して頂ける看護を提供していきたいと思っています。

### 後輩看護師 / プリセプティ



4階西病棟【外科・整形外科・歯科口腔外科】  
看護師 川井 らら  
(酒田看護専門学校卒業)

*Message of support*  
石塚さんへ  
石塚さんが優しく指導、助言を  
してくださるおかげでいつも頑張  
ることができています。  
ありがとうございます。  
川井らら

### TOPICS /

#### ANAグループより、すずらんをいただきました

5月23日(火)に、庄内空港にて「しあわせの花 すずらん」の進呈式が行われ、当院を含めた庄内地区3か所の医療機関がすずらんの花とおりの寄贈を受けました。この活動は、ANAグループの社会貢献活動の一環として昭和31年に始まったもので、毎年、全国の医療施設に「再び幸せが訪れる」という花言葉を持つ「すずらんの花」が贈られています。

今年も素敵なすずらんを届けて頂いた、ANAグループのご厚意に感謝いたします。





## 鶴岡・田川3病院 地域包括ケアパス連携 がスタートしました

今年4月、鶴岡市立荘内病院（鈴木聡院長）、鶴岡協立病院（堀内隆三院長）、庄内余目病院（寺田康院長）の3病院は「鶴岡・田川3病院地域包括ケアパス連携協議会」を立ち上げ、5月31日（水）に連携協定を締結しました。本協議会の設立とパス運用に向けては、昨年12月にキックオフミーティングを行い、各病院の3役、地域連携担当者による協議を何度も重ね、この協定締結の日を迎えることができました。

### 地域包括ケアパス連携とは

厚生労働省は、2025年以降に団塊の世代が75歳（後期高齢者）になる超高齢化社会を迎えるにあたり、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで送ることができるよう、地域が一体となって医療・介護・住まい・介護予防・生活支援をする体制づくりを推奨しています。

このことを受け、本協議会の地域包括ケアパス連携では、65歳以上の高齢者に特に多い「肺炎（誤嚥性肺炎含む）」「心不全」「尿路感染症」の3つの疾患について、患者さんごとに診療計画書（クリティカルパス）を作成・共有し、3病院が連携しながら急性期から回復期の治療、その後の療養生活へスムーズに進めていきます。このパスの運用によって、限られた地域の医療資源を機能的に活用できるだけでなく、検査や治療、その後の療養生活について計画的に示すことで患者さん、ご家族の不安の解消や安心感につながるものと思います。

### 地域包括ケア病棟の有効活用

急性期の治療を鶴岡市立荘内病院、その後の亜急性期・回復期の治療を鶴岡協立病院と当院が担当します。鶴岡協立病院と当院には「地域包括ケア病棟」※があり、急性期治療を終えた患者さんのリハビリ

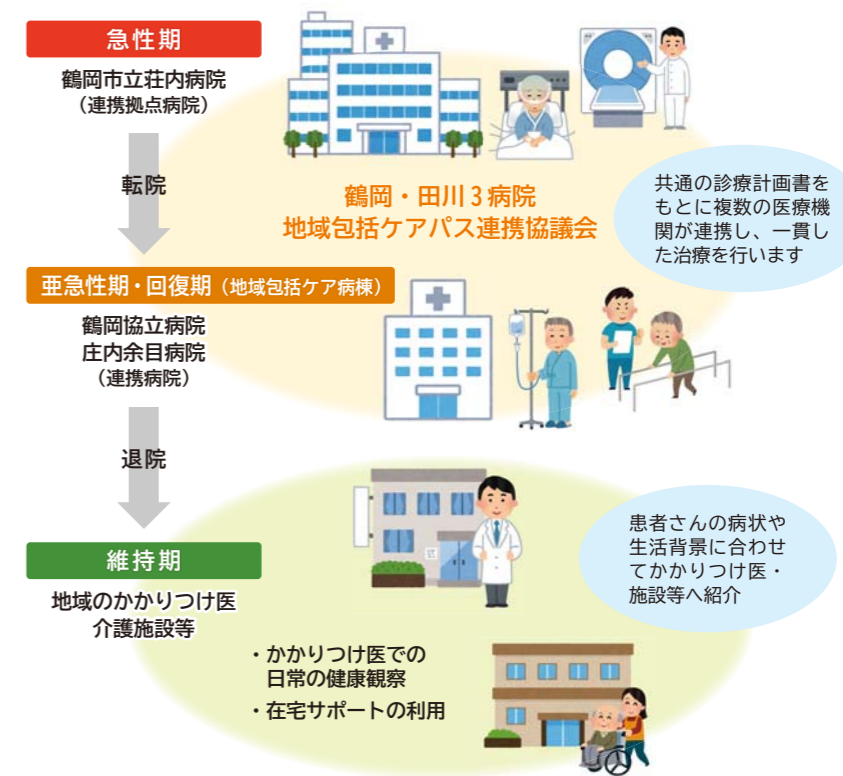
※「地域包括ケア病棟」には、医療と介護、施設と在宅部門が連携しながら、急性期で治療を終えた患者さんが在宅に帰れるようなサポートを行うことで、「地域包括ケアシステム」の実現を目指すという役割があります。

### 地域包括ケアパス連携の仕組み

患者さんに関わる地域の医療機関や施設等が連携し、共通の診療計画書に沿って継続的に治療やリハビリ、療養のサポートを行うための仕組みです。

地域包括ケアパスでは、患者さんの急性期治療を鶴岡市立荘内病院で、亜急性期・回復期の治療を鶴岡協立病院と当院が担い、退院後は日常の健康管理を行う地域のかかりつけ医（診療所）や施設等へスムーズにおつなぎします。

各医療機関のそれぞれの特長や役割を活かしながら、患者さんにとって負担の少ない最適な医療を地域全体で提供していきます。



テーションや在宅・生活復帰に向けた積極的な支援を行うことができます。これからの地域包括ケアシステムを構築する上でも、地域包括ケア病棟の有効活用は重要です。

### これからの地域医療連携の在り方

寺田康院長は、この地域包括ケアパス連携の意義について「この協定は、型にはまった病院同士の連携ではなく、一人ひとりの患者さんの疾患に細やかな目を向けて対応するものです。特に頻度の高い疾患から連携し、この連携が網の目のように地域全体に発展していくことが大切」と考えています。今後も3病院で協力し合い、庄内地域の地域医療に貢献していきたいと思っています。（地域連携課長／遠藤豊喜）



## —要精密検査と言われたら— 二次検診を受けましょう

### 当院で二次検診(再検査や精密検査)をお受けしております

健康診断やドックの検査結果が届いたら、できるだけ早く内容をご確認ください。検査結果で「要精密検査・治療」※という判定項目があった場合には、二次検診を受けましょう。自覚症状がなくても治療や経過観察が必要な場合もあります。「今まで受診しなくても問題なかったから大丈夫」と自己判断で放置したり、「病気と言われたら怖い」といった理由で再検査をためらう方もいますが、これではせっかく受けた検査が無駄になってしまいます。なかには二次検診で病気が早く見つかったことで、初期治療で済み、経過良好だったという方もたくさんいらっしゃいます。

当院では、人間ドック・健康診断で異常が見られた方の二次検診（再検査や精密検査）を行っています。まずは受診していただき、ご自身の健康の再確認をしましょう。

※ 要精密検査・治療…治療が必要かどうかを確認するために、より詳しい検査が必要



- 脂質や血糖値に異常があった
- 胸部レントゲンに影があった
- 消化器系検査で異常を指摘された
- 心電図に異常がみられた
- 便潜血があった
- 尿たんぱくが出た など

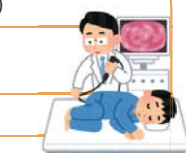
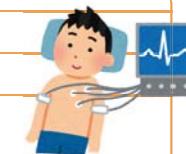
当院で対応できる  
二次検診項目の  
詳細はこちら



### 当院における二次検診の実施一覧

各検査項目の診療科一覧になります。このほかに「何科」を受診すれば良いのかわからない場合は、お気軽にお問い合わせください。

検査項目	主に疑われる病気	診療科
血圧・脈拍	高血圧症・心疾患など	内科・循環器内科
血液一般検査・脂質代謝	貧血、脂質異常症（高脂血症）、動脈硬化症、細菌感染症、糖尿病など	内科
免疫血清反応	感染症や免疫異常など	内科
糖代謝（空腹時血糖、HbA1c）	糖尿病、すい臓がん、ホルモン異常など	内科
胃ABC分類検査	胃炎、ピロリ菌の有無、胃粘膜萎縮の有無	外科
尿検査(尿糖・蛋白・潜血等)	腎機能低下、糖尿病、甲状腺機能亢進症、尿路結石、膀胱炎など	内科・泌尿器科
心臓検査（心電図・心臓超音波）	心疾患（心筋梗塞・狭心症・弁膜症など）	循環器内科、心臓血管外科
胸部X線検査（X線単純撮影、胸部CT）	肺炎、肺結核、肺がん、肺気腫など	呼吸器内科
肺機能検査（肺活量）	間質性肺炎や肺線維症、慢性閉塞性肺疾患など	呼吸器内科
腫瘍マーカー	大腸・膵臓・胃・肝臓・前立腺などのがん	外科、泌尿器科
便検査	大腸ポリープ、大腸がんなど	外科
PSA（前立腺検査）	前立腺がん	泌尿器科
腹部超音波検査	肝臓、すい臓、腎臓などの疾患、脂肪肝、胆石症など	内科、外科
頭部MR・頸部超音波検査	脳血管疾患（脳出血、脳梗塞、くも膜下出血）や脳腫瘍など	脳神経外科
腎機能検査（eGFR、尿素窒素、クレアチニン）	腎疾患	内科（腎臓内科）
肝機能検査	アルコール性肝臓障害や慢性肝炎、ネフローゼ症候群など	内科、外科
肝炎ウイルス検査	C型肝炎、B型肝炎	内科
乳房検査（触診・乳腺超音波・マンモグラフィ）	乳がん	乳腺外科
動脈硬化検査	動脈硬化症	循環器内科・心臓血管外科など
骨密度検査	骨粗しょう症	整形外科
上部/下部消化管検査	消化管疾患（食道、胃・十二指腸や大腸の病気）	外科



受診予約のお申し込み先

庄内余目病院 予約センター ☎0234-43-8021 (直通)

予約受付時間：月曜～金曜（祝日は除く）13:00～17:00

※「二次検診の予約」とお申し出ください。



内科	午前	1 土	2 日
脳神経外科	夕診	内科医師	休日
整形外科	午前	-	
歯科口腔外科	午前	秋田大学医師	
呼吸器内科	午前	菅谷	
リウマチ膠原病外来	午前	那須	
		呼吸器内医師	
		※リウマチ膠原病科医師	

		3 月	4 火	5 水	6 木	7 金	8 土	9 日
内科	午前	海野/長戸	西邨/長戸	※海野/※山本/松田	西邨/内科医師	海野/松尾	内科医師	休日
総合診療科	夕診	西邨	-	※山本	海野	-	-	
心臓センター	午前	◎細川/◎嵩田	◎菊池/◎川島	◎菊池/◎嵩田	◎酒井/◎嵩田	◎川島	-	
脳神経外科	午前	伊崎	蘇	伊崎	伊崎	蘇/秋田大学医師	秋田大学医師	
外科	午前	横山/小野	張/坂井	横山	張/平崎	張/小野	-	
整形外科	午前	日向野	早川	宮本	日向野	宮本	早川	
歯科口腔外科	午後	荒/那須	荒/那須	荒/那須	荒/那須	荒/那須	荒	
皮膚科	午前	-	矢島	-	-	-	-	
泌尿器科	午後	-	-	都筑	-	-	※三木	
神経内科	午前	-	國井	-	-	-	※高橋	
婦人科	午前	田村	-	-	田村	-	-	
形成外科	午前	※富樫	※米戸(雅)	-	※富樫	-	-	
せぼね外来	午後	-	-	-	-	※菅原/※東山	-	
物忘れ外来	午後	-	-	-	-	-	※高橋	
リウマチ膠原病外来	午前	-	-	-	-	※岸本	-	
緩和ケア外来	午前	-	※坂井	-	-	-	-	

		10 月	11 火	12 水	13 木	14 金	15 土	16 日
内科	午前	海野/長戸	-	※海野/※山本/松田	西邨/西島	海野/松尾	内科医師	休日
総合診療科	夕診	西邨	-	※山本	海野	-	-	
心臓センター	午前	◎菊池/◎嵩田	-	◎菊池/◎嵩田	◎酒井/◎嵩田	◎菊池/◎川島	-	
脳神経外科	午前	伊崎	-	伊崎	伊崎	蘇/秋田大学医師	秋田大学医師	
外科	午前	横山/小野	-	横山	張/平崎	張/小野	-	
整形外科	午前	日向野	-	宮本	日向野	宮本	早川	
歯科口腔外科	午後	荒/那須	-	荒/那須	荒/那須	荒/那須	那須	
皮膚科	午後	-	-	小栗	-	-	-	
泌尿器科	午後	-	-	小栗	-	-	-	
神経内科	午後	-	-	牧野	-	-	-	
精神科	午後	-	-	牧野	-	-	-	
呼吸器内科	午後	-	-	-	-	-	-	
婦人科	午後	-	-	-	-	-	-	
形成外科	午後	-	-	-	-	-	-	
せぼね外来	午後	-	-	-	-	※東山	-	
物忘れ外来	午後	-	-	-	-	-	-	
リウマチ膠原病外来	午後	-	-	-	-	-	※池田	
		-	-	-	-	-	※池田	

# 2023年7月 診療担当医師予定表

		※坂井	-	-	-	-	-	休日
緩和ケア外来	午前	-	-	-	-	-	-	休日
内科	午前	17 月	18 火	19 水	20 木	21 金	22 土	
総合診療科	夕診	-	西邨/長戸	※海野/※山本/松田	西邨/西島	海野/松尾	内科医師	
心臓センター	午前	-	-	※山本	海野	-	-	
脳神経外科	午前	※寺田	-	-	-	-	-	
外科	午前	◎川島	◎菊池/◎嵩田	◎酒井/◎嵩田	◎菊池/◎川島	-	-	
整形外科	午後	-	-	-	◎川島	-	-	
歯科口腔外科	午後	-	蘇	伊崎	伊崎	蘇/秋田大学医師	秋田大学医師	
皮膚科	午後	-	-	蘇	伊崎	-	-	
泌尿器科	午後	-	張/坂井	横山	張/平崎	張/小野	-	
神経内科	午後	-	張	-	-	-	-	
呼吸器内科	午後	-	早川	宮本	日向野	宮本	早川	
形成外科	午後	-	荒/本	-	-	-	-	
せぼね外来	午後	-	荒/那須	荒/那須	荒/那須	荒/那須	荒	
緩和ケア外来	午後	-	荒/那須	荒/那須	荒/那須	-	-	
		-	矢島	-	-	-	-	
		-	-	柳澤	-	-	-	
		-	-	柳澤	-	-	-	
		-	國井	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	呼吸器内科医師	
		-	-	-	田村	-	-	
		-	田村	-	-	-	-	
		-	※松田	-	※富樫	-	-	
		-	-	-	-	-	※菅原	
		-	-	-	-	※菅原/※東山	-	
		-	※坂井	-	-	-	-	

		24 月	25 火	26 水	27 木	28 金	29 土	30 日
内科	午前	海野/長戸	西邨/長戸	※海野/※山本/松田	西邨/西島	海野/松尾	内科医師	休日
総合診療科	夕診	西邨	-	※山本	海野	-	-	
心臓センター	午前	◎菊池/◎嵩田	◎菊池/◎嵩田	◎酒井/◎嵩田	◎菊池/◎川島	-	-	
脳神経外科	午前	伊崎	蘇	伊崎	伊崎	蘇/秋田大学医師	秋田大学医師	
外科	午前	横山/小野	張/坂井	横山	張/平崎	張/小野	-	
整形外科	午前	日向野	早川	宮本	日向野	宮本	早川	
歯科口腔外科	午後	荒/那須	荒/那須	荒/那須	荒/那須	荒/那須	休診	
皮膚科	午後	-	-	-	-	-	-	
泌尿器科	午後	-	-	小栗	-	-	-	
神経内科	午後	-	-	小栗	-	-	-	
精神科	午後	-	-	牧野	-	-	-	
呼吸器内科	午後	-	-	牧野	-	-	-	
婦人科	午後	-	-	-	-	-	-	
形成外科	午後	-	-	-	-	-	-	
せぼね外来	午後	-	-	-	-	-	-	
物忘れ外来	午後	-	-	-	-	-	-	
リウマチ膠原病外来	午後	-	-	-	-	-	-	
緩和ケア外来	午後	-	-	-	-	-	-	

		31 月	
内科	午前	海野/長戸	◎※印の付いている医師は予約の患者さんのみの診察とさせていただきます。
心臓センター	夕診	西邨	◎都合により担当医師が変更になる場合がございます。
脳神経外科	午前	◎菊池/◎嵩田	◎心臓センター診療科について◎は循環器内科、◎は心臓血管外科の略です。
外科	午前	伊崎	◎オレンジ色のマスは女性医師が担当している枠です。
整形外科	午前	伊崎	
形成外科	午前	横山/小野	
形成外科	午後	日向野	
形成外科	午後	荒/那須	
形成外科	午後	荒/那須	
形成外科	午後	田村	
形成外科	午後	※米戸(志)	
形成外科	午後	米戸(志)	
形成外科	午後	※坂井	



# 診療時間のご案内

※予約制

	午前診 (9:00~12:00)	午後診 (14:00~16:00)	夕診 (17:00~19:00)	備考
内 科	毎週月~土	-	毎週月・※水・木	夕診予約外は内科医師以外の代診となる場合があります
総合診療科	-	-	※毎週火	-
心臓センター (循環器内科・心臓血管外科)	毎週月~金	-	毎週木	夕診は1階外来
脳神経外科	毎週月~土	-	毎週月・水・木	-
外 科	毎週月~金	-	毎週火	-
整形外科	毎週月~土 (火・土は11:30まで)	-	毎週火	火曜夕診(受付18:30まで)
歯科口腔外科	毎週月~土	毎週火~木 (14:00~17:00)	毎週月(16:00~19:00)	-
皮膚科	第1・3火/第2・4水	第2・4水	-	第1・3火(受付11:00まで)、第2・4水(受付11:30まで)
泌尿器科	毎週水/※第2土	毎週水	-	-
神経内科	毎週火/ ※第2土/※第3・4日	-	-	-
精神科	※第2・4金	-	-	-
呼吸器内科	第1・3・4土	-	-	-
乳腺外科	第4月	-	-	-
婦人科	毎週月・木(10:00~12:00)	毎週火	-	-
形成外科	※第1・5月/※第1・3木/ ※毎週火(11:00~12:00)	第2・4月 (13:30~17:00)	-	-

## 今月の特別外来 (完全予約制)

	午前診 (9:00~12:00)	午後診 (14:00~16:00)	備考
DMフットケア外来	第1・5月/第1・3木	-	-
歩行外来	第1・3木(9:00~11:30)	-	-
くつ外来	第1・5月(9:00~13:00)	第1・5月(14:00~16:30)	-
せぼね外来	第2・4土(9:00~11:00)	第1・2・3金	-
物忘れ外来	-	第2土/第3日(13:00~14:00)	-
リウマチ膠原病外来	第1金/第1・3土	第2金(13:30~16:30)	-
緩和ケア外来	毎週火(9:00~10:00)	-	-

都合により休診となることがありますので、院内掲示またはお電話でご確認の上、ご来院ください。  
担当医師等の詳細については誌面の診療担当医師予定表をご確認ください。  
尚、救急・急患の方はいつでも受け付けいたします。

予約受付について 診察予約・予約の変更は下記までお電話ください。

	電話番号	受付時間
一般診療予約	TEL 0234-43-8021(予約センター)	月~金曜 13:00~17:00
医療機関の方 (患者さんのご紹介の場合)	TEL 0234-43-3470(地域医療連携室)	月~金曜 9:00~17:00
歯科口腔外科予約	TEL 0234-43-3434(代表)	月~木曜9:00~12:00、14:00~17:00、金・土曜9:00~12:00

### 区内余目病院

#### ●基本理念●

生命を安心して預けられる病院  
健康と生活を守る病院  
地域に貢献する病院

#### ●患者様の権利●

1. 人格とプライバシーを尊重される権利
2. 良質の医療を受ける権利
3. 説明を受ける権利
4. 自己決定の権利
5. 個人情報保護の権利
6. 診療情報の提供を受ける権利
7. 健康教育を受ける権利
8. 宗教的支援に対する権利



当院は日本医療機能評価機構認定病院です。



環境に配慮した「植物油インキ」を使用しています。

病院ホームページ



病院ブログ



見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。